



伊賀市まちづくりアンケート (市民意識調査) 調査結果をお知らせします



図 未来政策課 ☎ 22-9620 FAX 22-9672

まちづくりアンケートとは

このアンケート調査は、第3次伊賀市総合計画の各施策に対する市民の皆さんの「現在の満足度」と「今後の重要度」などを把握することで現在行っている施策の分析を行うものです。

≪調査対象≫ 住民基本台帳に登録されている満18歳以上の人から無作為に抽出した3,000人

≪調査期間≫ 1月30日～2月24日

≪回答者数≫ 1,043人

市民の「共感」による参画型のまちづくりについての質問

第3次伊賀市総合計画では、複雑化する社会課題に対応するため、多様な主体が協働する「共感による参加型社会」(＝「これからの公共」)づくりをめざし、取組を進めています。

アンケート調査では、各施策の「現在の満足度」「今後の重要度」に加え、市の取組などへの参加状況について調査しました。

市民の皆さんが過去1年間に参加した取組についての質問*では、「参加したことがない」が約61%と多い一方で、「住民自治協議会・自治会など地域組織を核としたネットワークによる活動」が約18%と、参加した取組として最も多い結果となりました。参加した取組内容は、「住民自治、市民活動」が最も多く、次いで「防災、危機管理」、「スポーツ活動、スポーツ施設」が多い結果となっています。

なお、「参加したことがない」と回答した理由は「募集や実施していたことを知らなかった」が最も多く、地域活動に参加しにくい理由は「時間がない」が最も多い結果となりました。

“伊賀市ならではの”まちづくりにおける「これからの公共」をつくるため、共通の課題意識をもってみんなで取組を進めます。

過去1年間に参加した取組についての質問

*質問例として、皆さんが回答したアンケートの一部をご紹介します。

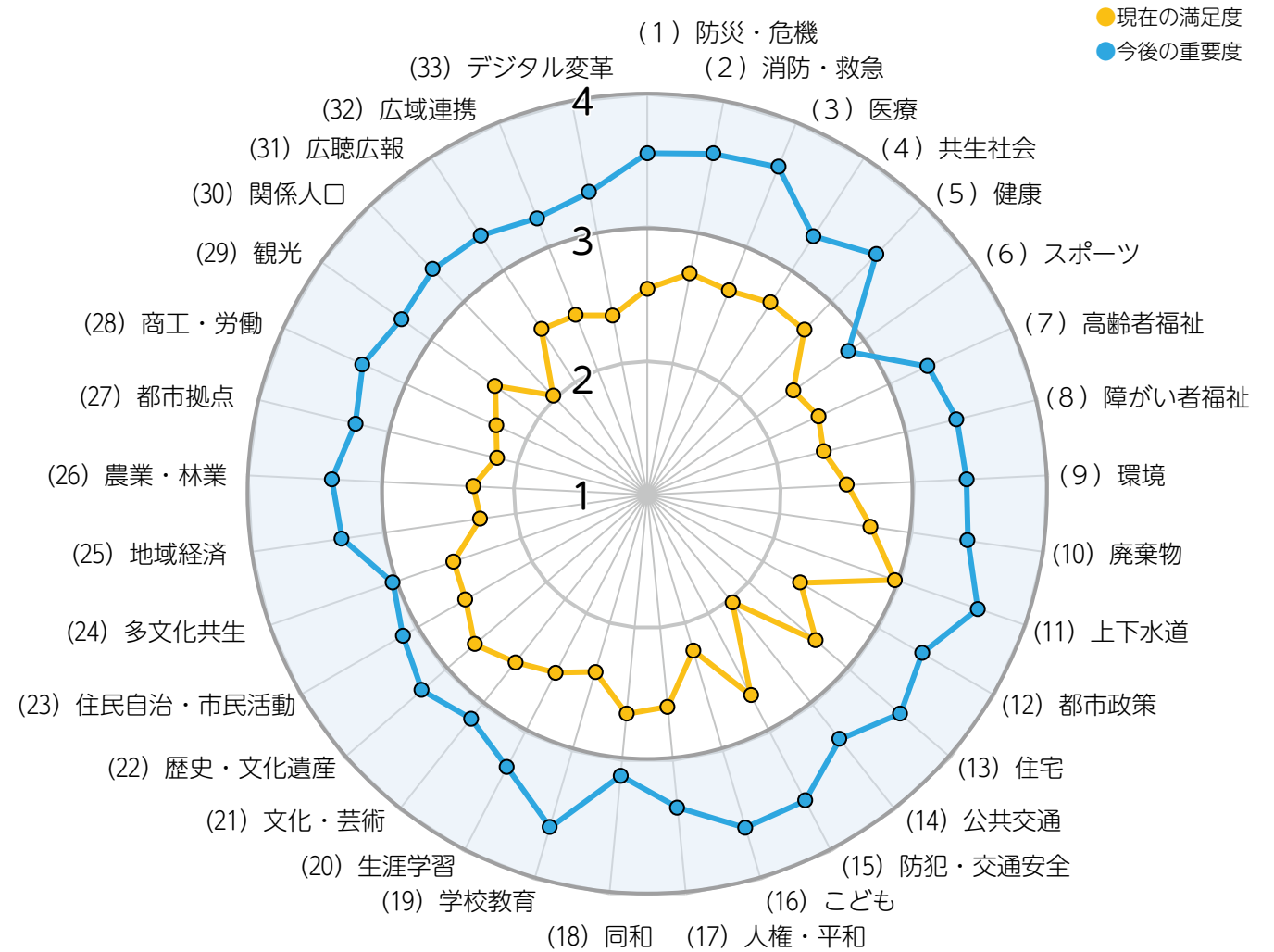
問8 皆さんが、参画・参加（以下、「参加」という。）する手法や活動にはおおむね次のようなものがあると思います。あなたは過去1年間に、これらの取組に参加したことがありますか。

参加したことがない方は、「13. 参加したことがない」に○をつけてください。

(あてはまるもの全て番号のに○、ただし、「13. 参加したことがない」はそれだけに○)

1. 審議会などの市民公募委員
2. アンケート・パブリックコメント(市民の意見提出手続き)
3. ワークショップ(参加者が主体的に体験しながら学ぶ場)
4. タウンミーティング(市民と市が直接対話し、地域課題や市政に関する意見交換を行う対話型集会)
5. シンポジウム(公開討論会)、講演会
6. eモニター制度(市政や市民生活にかかる課題などについて、市の行うインターネットを活用したアンケートに回答する市民モニター)
7. 伊賀市ホームページや市役所窓口にて、市への提案や提言を行う
8. オープンハウス(展示物やパネルで説明を聞きながら、担当職員に質問や意見を伝えられる説明会形式)
9. 審議会などの傍聴
10. 住民自治協議会・自治会など地域組織を核としたネットワークによる活動
11. 10以外の特定の地域の課題に取り組む住民が中心となった組織による活動(NPO・社会福祉協議会・任意団体など)
12. その他()
13. 参加したことがない

現在の満足度と今後の重要度



得点の内容

4点＝「満足」「重要」
3点＝「やや満足」「やや重要」
2点＝「やや不満」「あまり重要でない」
1点＝「不満」「重要でない」
※「わからない」は得点から除く。

施策の分野

※(数字)は上記のグラフと同一の施策を表します。

いのちをまもる	(1)(2)(3)
くらしをささえる	(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)
ひとをはぐくむ	(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)
にぎわいをつくる	(25)(26)(27)(28)(29)(30)
その他横断的な取組	(31)(32)(33)

重要度については、施策全体の平均が3.35点で、全体的に高い結果となっています。特に、「いのちをまもる」分野の「医療」(3.64点)「消防・救急」(3.60点)、「くらしをささえる」分野の「上下水道」(3.62点)、「ひとをはぐくむ」分野の「こども」(3.60点)「学校教育」(3.60点)の重要度が高くなっています。

満足度については、施策全体の平均が2.48点で、「くらしをささえる」分野の「上下水道」(2.96点)が最も高く、次いで「ひとをはぐくむ」分野の「歴史・文化遺産」(2.71点)、「くらしをささえる」分野の「共生社会」(2.71点)で高い結果となっています。ただし、いずれの施策も「やや満足」の3点を下回っています。

また、得点から除かれた「わからない」という回答数が300以上あった施策は、「障がい者福祉」「同和」「広域連携」でした。

分野を問わず、「共感による参加型社会」の実現に向け、市の施策や取組を市民の皆さんにこれまで以上に届けながら、今後も満足度の向上に取り組めます。

伊賀市まちづくりアンケート(市民意識調査)調査結果のその他詳細は、市ホームページをご覧ください。